

○ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の全国的な横展開事業

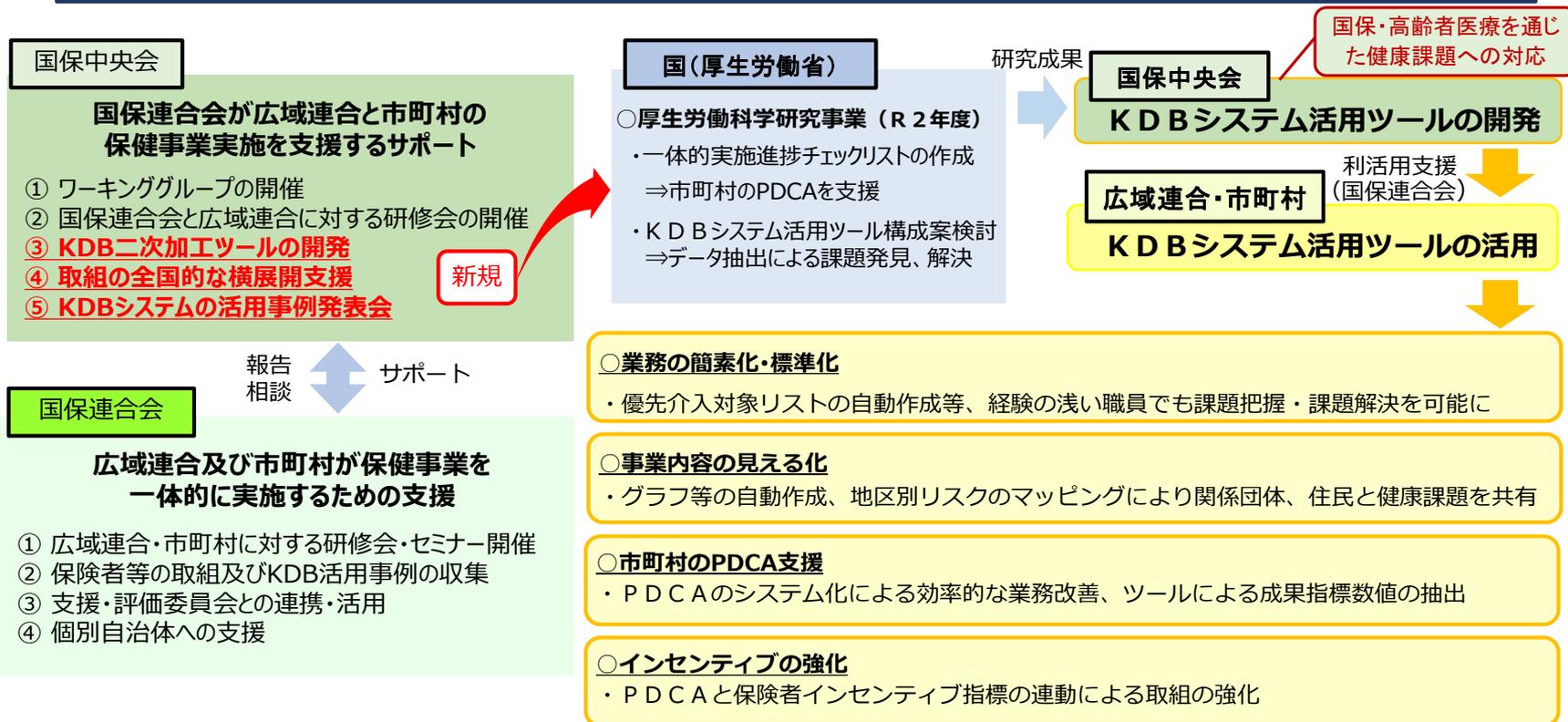
令和3年度予算案：1.9億円
(令和2年度予算額：1.1億円)

<目的>

令和2年度より開始された高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について、令和6年度までの全市町村における取組の実施に向けて、効果的な横展開を図る。

<事業概要>

国保中央会が行うKDBシステムのデータ活用ツール開発及び国保連合会等へのサポート事業等を支援する。また、国保連合会が行う広域連合及び市町村の保健事業のサポート事業等を支援する。



KDBシステム活用ツールの開発等により市町村の業務を支援し、取組事例を全国的に横展開していく。

国保中央会の令和3年度新規事業について

KDBシステムの2次加工ツールの開発

- 研究班で検討された要件に基づき、KDBシステムから出力するCSVデータを用いて、高齢者保健事業の優先的な支援対象者（低栄養・重症化予防、口腔、服薬、フレイル、健康状態不明者）を抽出する2次加工ツールを開発する。 ※ 詳細は、「資料1」P.18（令和4年1月中旬リリース予定）

取組の全国的な横展開支援

- 取組の横展開に向けWebコンテンツを開発し、中央会ホームページにおいて公表する。 （令和4年3月リリース予定）
- 市町村・広域連合におけるKDBシステム活用を促進するために、KDBデータ活用の工夫や事例等のコンテンツを作成する。
- CSVデータの加工・分析体験ができるトライアル版コンテンツの作成等、研究班の検討も踏まえ作成する。

KDBシステムの活用事例発表会（Web会議）

- 令和6年度までの全市町村実施に向けた担当者向けの研修会として開催する。KDBシステム活用の好事例発表や一体的実施の立上げ、取組推進のヒント等のリレートークを予定している。
- ウェビナーを活用したオンライン研修として、全国の市町村・広域連合・都道府県等を対象に開催する。（3,000人規模を想定）（令和3年11月予定）